

大学の世界展開力強化事業（平成28年度採択）事後評価結果

大学名	明治大学
整理番号	B8
事業名	CLMVの持続可能な都市社会を支える共創的教育システムの創造

◇大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価 A	事業計画どおりの成果をあげており、事業目的は実現された。
コメント 本事業は、先進的なアジア型の将来都市構想と共創的教育システムを創造するなかで、自国の問題とその特殊性を自覚し、発展段階を超えて共通の問題にアプローチできる専門的知識、能力を有する、言語・文化の違いを超えた共創を実現する人材を養成することを目指している。 事業展開では、バンコクの明治大学アセアンセンターを活用しながら、積極的な交流を実現し、大学のみならず国内外の機関・企業・組織と活発に連携してきたことによって、質の高い教育機会を提供している。また、コロナ禍の影響を受けながらも、基本的な目標は計画に沿って達成されており、学内3部局がそれぞれの特色を生かしたプログラムを積極的に推進することで順調に派遣・受入数を確保している。また、採択後から4年目までの取組実績及び自己評価内容について外部評価を実施し、外部有識者から具体的かつ詳細な評価がなされている。関係教職員間でこの結果を共有しPDCAサイクルを実施することで、事業の改善に反映させている姿勢は、特に高く評価できる。 一方で、オンラインを活用した教育の更なる充実、文理融合型人材の育成、共創カルーブリックによるコンピテンシーについては、今後の方策が不明瞭である。また、交流学生数が極めて少ない国が散見されることから、ASEAN諸国15大学による実質的な交流の実現に向け一層の改善が求められる。今後は、海外オフィスの活用を通して得られた知見・経験を、積極的に他の大学に共有していくことを期待したい。 最後に、大学の世界展開力強化事業による補助期間は終了したが、引き続き質保証を伴う発展的な事業展開の実施によって、我が国の大学教育を牽引し、更なるグローバル展開力の強化に寄与されることに期待する。	